

漢字文化を次代へ



諸橋轍次の愛した  
漢詩の世界へようこそ

## 第16回 諸橋轍次博士記念漢詩大会 募集要項

応募締め切り

令和6年7月31日(水)

漢詩大会

記念講演

令和6年11月9日(土)午後2時～3時30分

表彰式・流觴曲水等

令和6年11月10日(日)午前10時～午後1時

会場

諸橋轍次記念館

# 第16回 諸橋轍次博士記念漢詩大会 募集要項

明治16(1883)年に下田村庭月(現在の三条市庭月)に生まれた諸橋轍次は、漢学研究に情熱を傾け、昭和57(1982)年に数え年100歳で亡くなるまで漢字文化の伝統を研究しました。また同時に伝統を単に古いものとして示すのではなく、『大漢和辞典』をはじめとする多くの著書をつうじて、現代社会に役立つものとして意義を示しました。

諸橋轍次の生誕地を中心に漢学の里を整備する三条市諸橋轍次記念館では、その志を継承すべく下記募集要項により全国の皆様から漢詩を募集いたします。

## 1: 応募区分

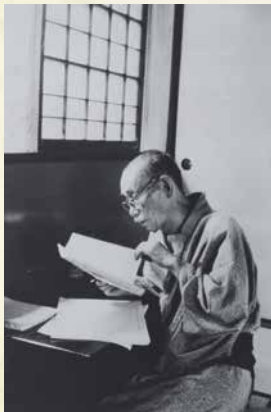
「一般の部」、「学生の部」、「招待の部」3部門を設けます。

## 2: 応募条件

- (1) 詩体は七言絶句のみとします。
- (2) 題は自由題とします。
- (3) 書き下し文(ふりがな付き)を併記してください。
- (4) 「一般の部」「学生の部」へ応募する方は、1人2首まで応募できます。
- (5) 第15回大会(令和5年度大会)において最優秀賞、優秀賞を受賞された方は、「招待の部」へ1人1首、作品をお寄せ願います。  
(「一般の部」「学生の部」への応募はできません。)
- (6) 上記応募作品は、未発表の作品に限ります。

## 3: 応募方法

郵送・インターネットのいずれかの方法でご応募ください。



### ○郵送

募集要項に添付した応募用紙を用いてください。

\*応募用紙は諸橋轍次記念館ホームページ「諸橋轍次博士記念漢詩大会」のページからダウンロードできます。

宛先 〒955-0131 新潟県三条市庭月434-1 諸橋轍次記念館 漢詩大会係

### ○インターネット

下記の手順で応募してください。

- 1 諸橋轍次記念館ホームページ「諸橋轍次博士記念漢詩大会」のページに記載されているURLから応募フォームにアクセスしてください。
- 2 応募フォームに必要事項を入力して「送信」ボタンをクリックしてください。  
\*インターネットからの応募には、メールアドレスが必須です。  
\*応募フォームはパソコン、スマートフォンに対応しています。

## 4: 応募料

一般の部	1首1,000円
学生の部	無料
招待の部	無料

応募料のお支払いは、郵便払込取扱票による方法のみの受付となりますのでご注意ください。

郵便振替口座、加入者名は下記のとおりです。

※振込手数料は応募者負担となりますので、予めご了承ください。

郵便払込取扱票 郵便振替口座 00530—2—103665 加入者名 諸橋轍次記念館
--

## 5: 応募受付期間

令和6年5月1日(水)~7月31日(水)

郵送の場合は締め切りの7月31日当日消印まで有効。





#### 6:入賞(予定)

「一般の部」、「学生の部」への応募作品は、作品審査に応じて、次の賞を予定しています。最優秀賞（諸橋轍次賞、中華人民共和国駐新潟総領事賞、新潟県知事賞、三条市長賞、新潟県教育委員会教育長賞）、優秀賞、秀作、佳作、奨励賞、特別賞（大修館書店賞）など。

「招待の部」への応募作品は無審査で大会誌（全入賞作品、招待作品などを収録）に掲載する予定です。

\*入賞者に正・副賞を授与いたします。

\*全応募者に大会誌・記念品を贈呈いたします。

#### 7:審査員

審査員長 大地武雄 二松學舎大学名誉教授

審査員 鷲野正明 国士館大学名誉教授

審査員 後藤淳一 法政大学講師

#### 8:審査

審査選考は審査員の責任と権限において合議で行い、入賞作品を決めます。審査についての問い合わせおよび異議は受理いたしません。

#### 9:発表

令和6年10月上旬に諸橋轍次記念館ホームページ「諸橋轍次博士記念漢詩大会」のページで発表予定。入賞者には個人宛に通知します。

#### 10:大会日程(予定)

記念講演 令和6年11月9日(土) 午後2時～3時30分

漢詩愛好者の集い 令和6年11月9日(土) 午後6時～8時

(懇親会) \*会場 嵐溪荘 参加費7,000円

表彰式・流觴曲水等 令和6年11月10日(日) 午前10時～午後1時

(雨天中止)

#### 11:作品返却

応募作品は返却しません。応募作品の控えはご自身でコピーしてください。

#### 12:著作権と出版権

作品の著作権は著作者本人に帰属します。ただし諸橋轍次記念館の出版物(販売するものを含む)・ホームページなどに無償で活用させていただきます。当館刊行物以外の出版物へ転載する場合は著作者の同意を前提とします。

#### 13:個人情報

応募者から提供された個人情報は今後の諸橋轍次博士記念漢詩大会の公募告知および諸橋轍次記念館の各種事業の告知に利用することがあります。

入賞者については、応募用紙に記載された氏名、雅号、都道府県・市町村名を大会誌に記載するほか、報道機関・関係機関に提供する場合があります。

#### 14:その他

(1) 無料送迎バスの運行（上越新幹線「燕三条駅」および信越本線「東三条駅」から諸橋轍次記念館までの間）を予定しています。

(2) 大会日程、内容等につきましては、自然災害など社会事情により中止・変更することがあります。

#### 15:作品送付・問い合わせ

諸橋轍次記念館 漢詩大会係

住所 〒955-0131 新潟県三条市庭月434-1 TEL・FAX 0256-47-2208

E-mail kangaku@city.sanjo.niigata.jp

諸橋轍次記念館ホームページ「諸橋轍次博士記念漢詩大会」

<https://www.kangaku-morohashi.com/course/諸橋轍次博士記念漢詩大会/>

\*上記サイトより募集要項・応募用紙をダウンロードできます。

## 記念講演

- ・日時 令和6年11月9日(土)午後2時～3時30分
- ・会場 諸橋轍次記念館 (入場無料)
- ・講師 亜細亜大学名誉教授 矢嶋 美都子 先生  
1950年群馬県高崎市生まれ。  
博士(人文科学、お茶の水女子大学)  
著書:『庾信研究』(明治書院)  
『佯狂—古代中国人の処世術』(汲古書院)  
『研究資料漢文学 詩Ⅲ』(共著、明治書院)など
- ・演題 漢詩の技法—詩語のイメージを活用する



諸橋轍次記念館



流觴曲水

## 主催・後援・事務局

- (1) 主催 諸橋轍次記念館
- (2) 後援 中華人民共和国駐新潟総領事館、新潟県、新潟県教育委員会、(株)大修館書店、二松学舎大学、読売新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、産経新聞社新潟支局、新潟日報社、三條新聞社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCT
- (3) 運営事務局 諸橋轍次記念館漢詩大会係  
(お問い合わせ先)  
〒955-0131 新潟県三条市庭月434-1  
TEL・FAX 0256-47-2208  
E-mail kangaku@city.sanjo.niigata.jp



- 北陸自動車道 三条燕インターから ..... 車で50分
- 上越新幹線 燕三条駅から ..... 車で50分
- 信越線・弥彦線 東三条駅から ..... 車で35分
- 越後交通バス 東三条駅前から ..... 40分  
(八木ヶ鼻温泉行き、諸橋轍次記念館前下車)

